

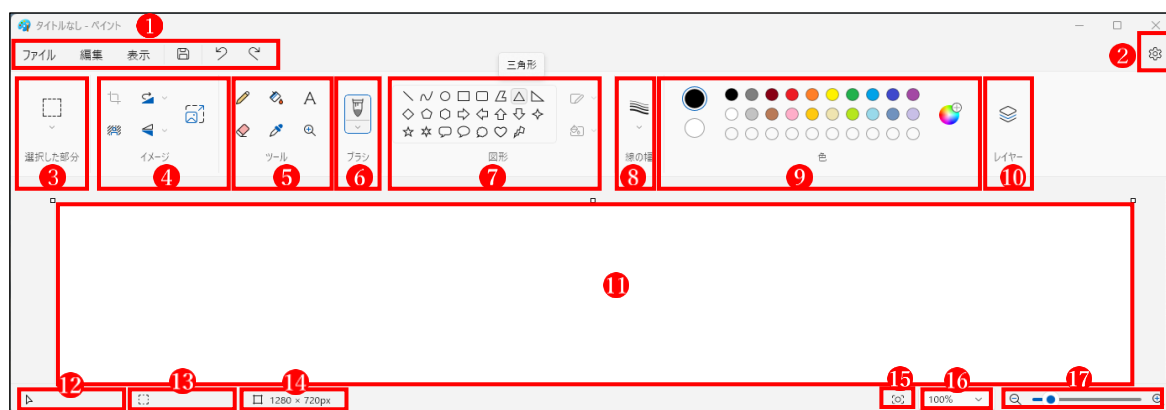
ペイントアプリでドラえもんを描いてみよう

Windows11 に搭載されている「ペイント」アプリに、「背景の削除」や「レイヤー機能」が追加され、以前より大幅に使い勝手が向上しました。ここでは、主に図形ツールと塗りつぶしツールを使って、おなじみのキャラクター「ドラえもん」のイラストを描いてみましょう。

1 新ペイントの画面構成

新ペイントの画面構成は、新しい機能が追加されたこともあり、従来のものからかなり変更されています。

<各部の名称と機能>

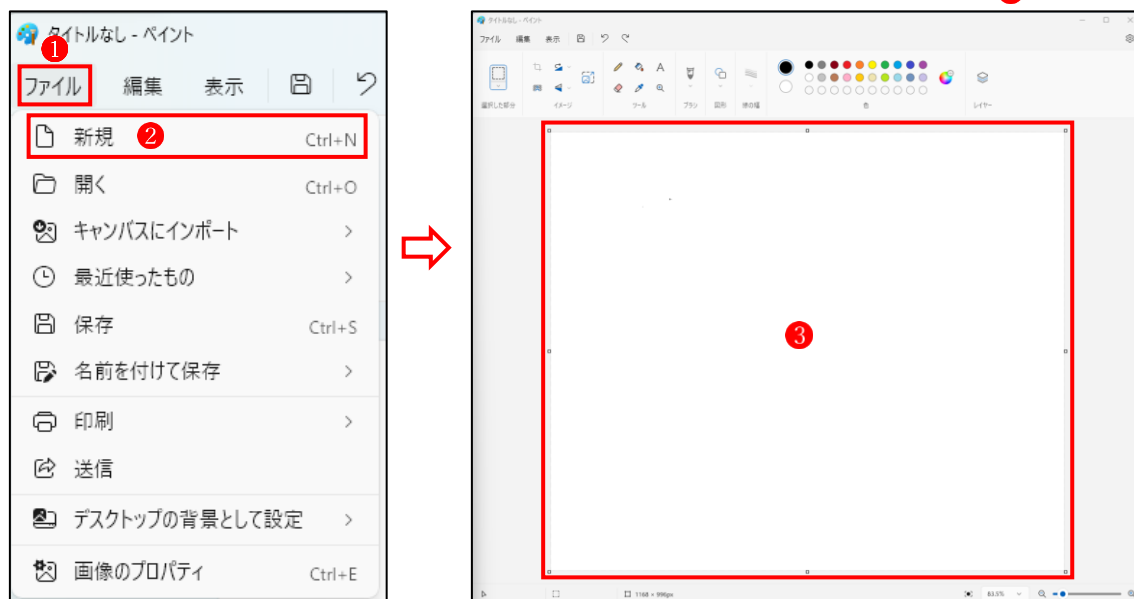


- ① メニュータブとクイックアクセスツールバー
- ② 設定 画面モード（ライト・ダーク・システム設定）を選択できます。
- ③ 選択した部分 画面の一部や透明部分を選択するためのツールです。
- ④ イメージ 画像の編集に使用できるツールが5つ用意されています。
- ⑤ ツール テキスト作成や塗りつぶし、消しゴムなどのツールが用意されています。
- ⑥ ブラシ 9種類のブラシが用意されています。
- ⑦ 図形 23種類の図形が作成できます。
- ⑧ 線の幅 4種類の線の幅が用意されています。
- ⑨ 色 あらかじめ用意されている色から選択でき、自分の好きな色を作成することもできます。
- ⑩ レイヤー レイヤーの追加、レイヤーの統合などのレイヤー機能が使えます。
- ⑪ キャンバス 画像の編集をしたり、図形や絵を描画する場所です。
- ⑫ 座標表示 マウスポインターのある位置を表示します。
- ⑬ 選択範囲 選択ツールで選択している範囲を表示します。
- ⑭ キャンバスサイズ キャンバスのサイズを表示します。
- ⑮ ウィンドウに合わせる キャンバスをウィンドウに合わせて拡大・縮小します。
- ⑯ キャンバスのサイズを数値で拡大・縮小します。
- ⑰ キャンバスのサイズをスライダーをドラッグして拡大・縮小します。

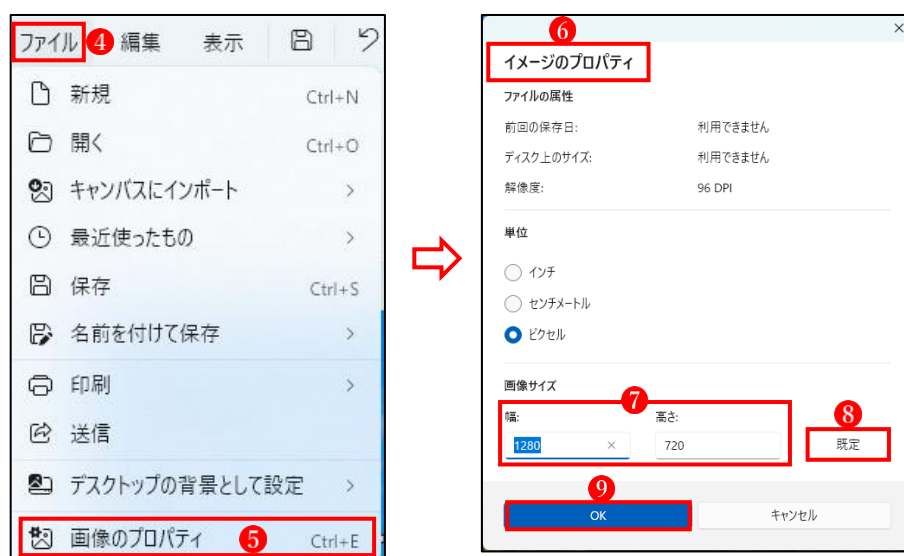
2 ペイントの基本的な使い方

(1) キャンバスのサイズを設定する

- ① 「ファイル」タブ①から「新規」②をクリックします。キャンバスが開きます③。



- ② 「ファイル」タブ④から「画像のプロパティ」⑤をクリックします。
→「イメージのプロパティ」ウィンドウ⑥が開きます。



- ③ キャンバスのサイズを変更したいときは、「幅」と「高さ」⑦の数値(px)を変更します。
ここで「既定」⑧のボタンをクリックすると、ディスプレイの解像度に応じたサイズが設定されます（※解像度 1920×1080px の場合は 1152×648px になります）。
最後に「OK」⑨をクリックするとキャンバスサイズが変更されます。次回、「ファイル」→「新規」をクリックすると、ここで設定したキャンバスサイズで開くようになります。

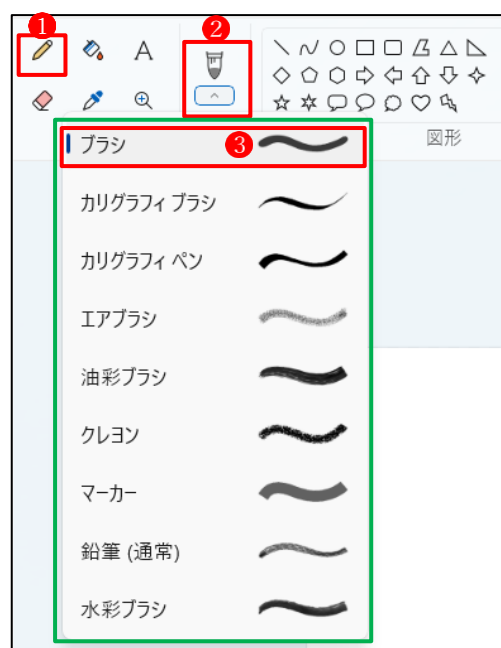
☆ ここでは、既定の「1152×648」(px)に設定しておきましょう。
キャンバスのサイズは後から自由に変更できます。

(2) 「ブラシ」ツールの使い方

自由な線を描くには、「鉛筆」ツール①と「ブラシ」ツール②を使いますが、ここでは、主に「ブラシ」ツールを使います。

① ブラシの種類

ブラシには9つの種類がありますが、ここでは「ブラシ」③を使います。



② ブラシの色の設定

- ・デフォルトでは「色 1」①には「黒」、
「色 2」②には「白」が設定されています。



・ブラシの色の変更

ブラシの色を変更するには、「色 1」または「色 2」をクリックして選択してから、右側にある色の一覧から設定したい色をクリックします。



☆ ここでは、「色 1」に「緑」③、「色 2」に「黄色」④を設定しています。

☆ 「色の編集」⑤をクリックすると、自分の好きな色を自由に作ることができます。

・ブラシの色の選択方法

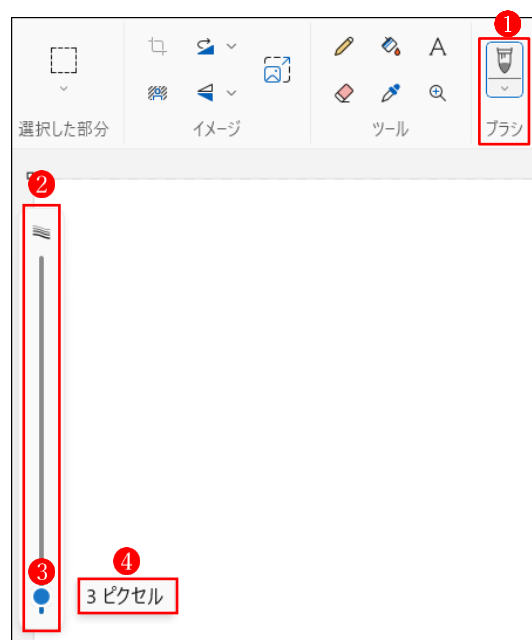
ブラシの色は、「色 1」と「色 2」を使い分けることができます。

「色 1」を使いたいときは「左クリック」で、「色 2」を使いたいときは「右クリック」でドラッグして使います。

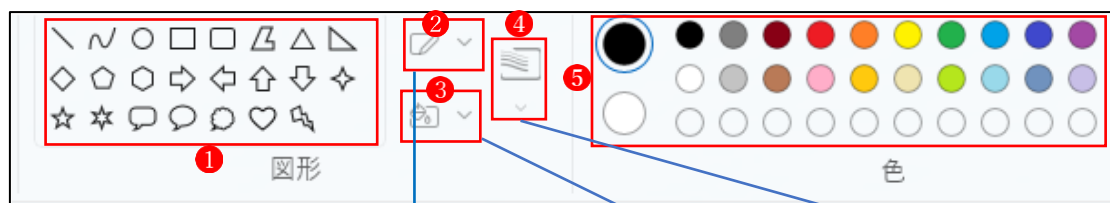
☆ 上記の設定では、左クリックでドラッグすると緑色で線が描かれ、右クリックでドラッグすると黄色で線が描かれます。

③ ブラシの線の太さの設定

- ・ブラシツール①をクリックすると、画面の左サイドにブラシの線の太さを設定するためのスライダー②が表示され、スライダーの丸いボタン③にマウスポインターを合わせると、傍らに現在の太さ④が表示されます。
- ・線の太さを変えるには、③のボタンを上下にスライドさせて決定します。

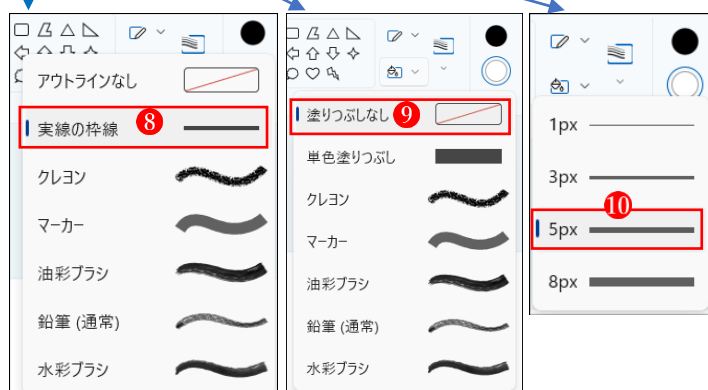


(3) 「図形」ツールの使い方



① 図形の種類

- ・図形の種類①は、あらかじめ23種類用意されています。
- ・図形を描くには、使いたい図形を選択してから、キャンバスの上でドラッグします。



② 図形の輪郭

「図形の輪郭」②は、デフォルトでは「実線の枠線」⑧が設定されています。

③ 塗りつぶし

直線と曲線は枠線のみですが、それ以外の図形は枠線のほかに塗りつぶしも設定できます。

「塗りつぶし」③は、デフォルトでは「塗りつぶしなし」⑨が設定されています。

(※塗りつぶしは後で実行することもできます。)

④ 線の幅

「線の幅」④は、4種類の太さから選択できます。デフォルトでは「5px」⑩に設定されています。

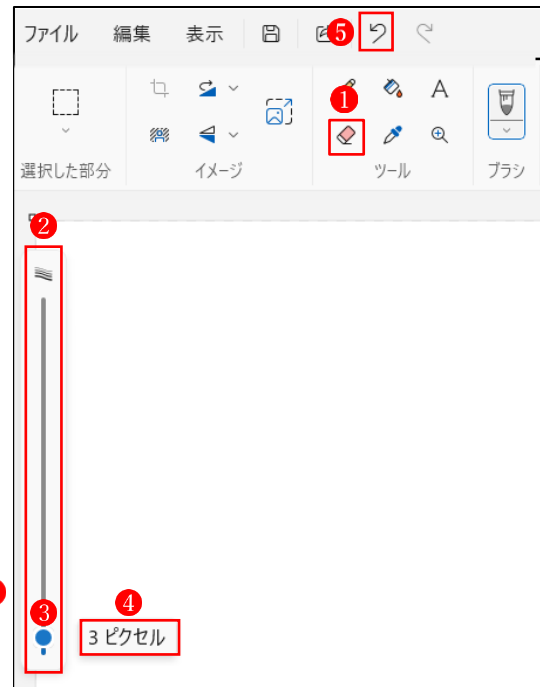
⑤ 色の設定

色の設定方法は、「ブラシの色の設定」の方法と同じです。「色1」を使いたいときは「左クリック」、「色2」を使いたいときは「右クリック」でドラッグして使います。

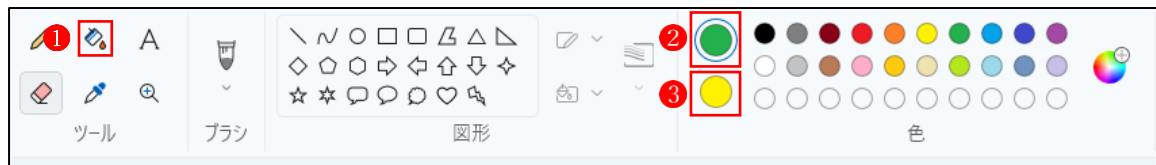
(4) 「消しゴム」ツールの使い方

「消しゴムツール」で、オブジェクトの上をなぞるとその部分を消すことができます。消しゴムの幅を設定して使います。

- ・「消しゴムツール」①をクリックすると、画面の左サイドに消しゴムの太さを設定するためのスライダー②が表示され、さらにスライダーの丸いボタン③にマウスポインターを合わせると、傍らに現在の幅④が表示されます。
- ・幅を変えるには、③のボタンを上下にスライドさせて決定します。
- ・消しゴムツールを使って不要な部分を消す際に、余計に消し過ぎた場合は、「元に戻す」ボタン⑤（または Ctrl+Z ）でやり直します。



(5) 塗りつぶしツールの使い方



① 塗りつぶす色の設定

塗りつぶす色の設定方法は、「ブラシの色の設定」の方法と同じです。

② 塗りつぶす方法

「塗りつぶしツール」①をクリックして選択し、オブジェクトの「線で囲まれた部分」をクリックします。この時、左クリックをすると「色 1」②に設定した色で、右クリックをすると「色 2」③に設定した色で塗りつぶされます。

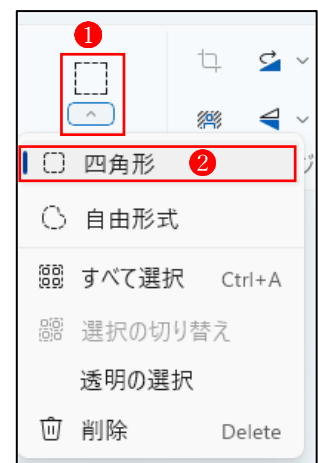
☆ 塗りつぶされるのは「線で囲まれた部分」なので、囲まれた部分に少しでも隙間があると、きれいに塗りつぶされないで、注意しましょう。

(6) 選択ツールの使い方

図形ツールで作成したオブジェクトは、編集では自由に移動できますが、一度オブジェクト以外の場所をクリックして編集を完了すると、その後は移動できなくなります。

しかし、移動させたいオブジェクトを「選択ツール」①でドラッグして囲むと、囲んだ部分のオブジェクトを再び移動できるようになります。

選択する形は、デフォルトでは「四角形」②に設定されています。

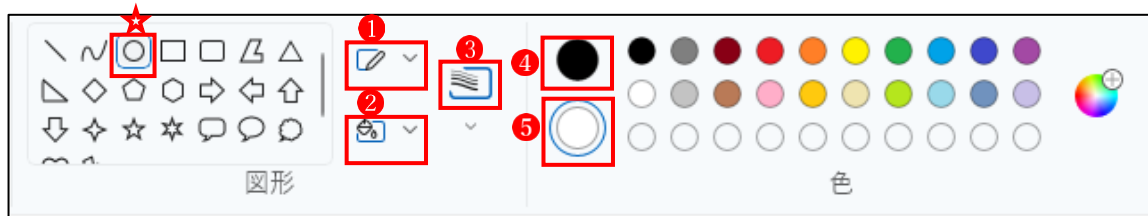


- 3 「ドラえもん」のイラストを作成する
ブラシツール、図形ツール、消しゴムツール、
塗りつぶしツールなどを駆使して、「ドラえもん」
のイラストを作成してみましょう。



(1) 図形ツールの初期設定

図形を使うに当たって初期設定を行います。



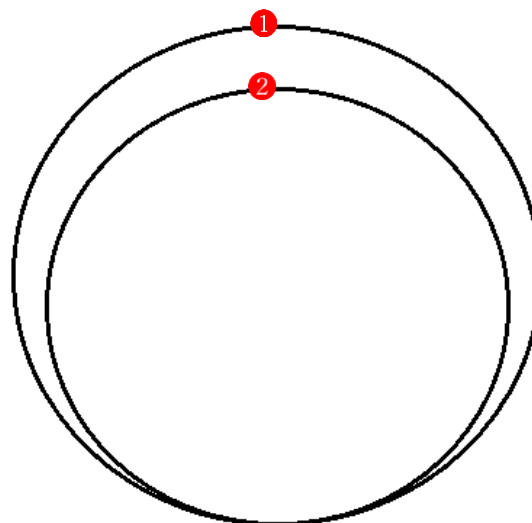
図形の初期設定を行うには、最初は何らかの図形（ここでは「楕円」）★を選択します。
次のように設定します。

- ① 「図形の輪郭」→「実線の枠線」
- ② 「図形の塗りつぶし」→「単色塗りつぶし」
- ③ 「線の幅」→「3px」
- ④ 「色 1」→「黒」
- ⑤ 「色 2」→「白」

(2) 輪郭線を作成する

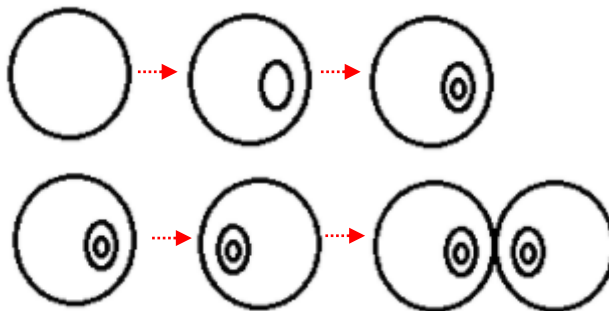
まずは輪郭線だけのイラストを作成します。

- ① 図形「楕円」で頭の部分①と顔の
部分②の輪郭を描きます。



② 目の部分を描きます。

- ・ 右目は図形グループの「楕円」を3個重ねて作成します。
- ・ 左目は、右目を複製して左右反転させて作ります。
- ・ 右目と左目を横にくっつけて配置します。



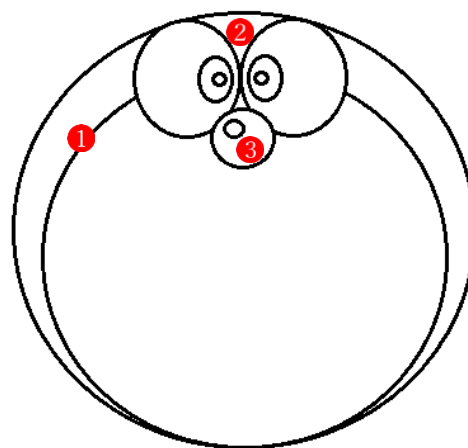
③ 鼻の部分を描きます。

- ・ 図形「楕円」で大小の円2個で鼻を描きます。



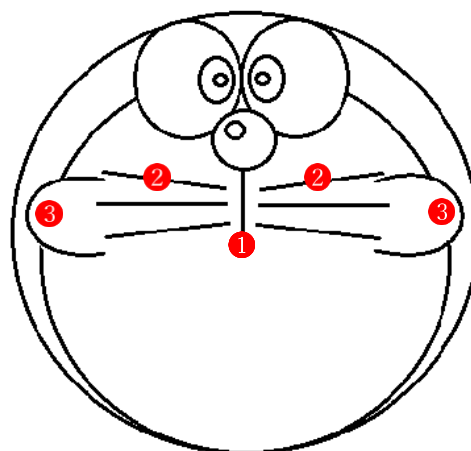
※Shift キーを押しながらドラッグすると真円が描けます。

④ 顔の輪郭①の中に②で描いた目②と③で描いた鼻③を配置します。



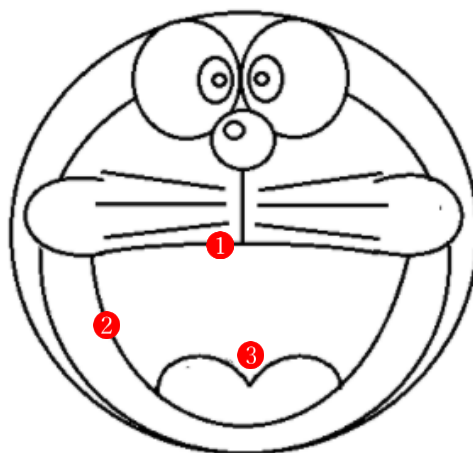
⑤ 鼻筋と髭を描きます。

- ・ 図形「直線」を使って、鼻筋①と左右の直線の髭②を描きます。
- ・ 図形「曲線」を使って、左右の丸みのある髭③を描きます。
- ・ 顔の輪郭線と丸みのある髭と重なる部分③は消しゴムを使って消します。



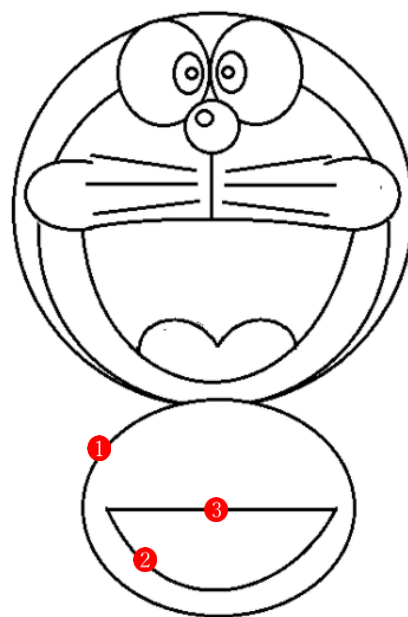
⑥ 口の部分の輪郭を描きます。

- ・上唇の部分①は図形「曲線」を使って描きます。
- ・下唇の部分②も「曲線」を使って描きます。
- ・舌の部分③は、図形「ハート形」を使って描きます。この時、「図形の塗りつぶし」は「塗りつぶしなし」に設定します。
- ・下唇と舌の重なる部分は「消しゴム」で消します。



⑦ 胸のポケットを描きます。

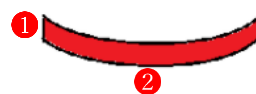
- ・図形「楕円」①、「曲線」②、「直線」③を使って描きます。



⑧ 首輪を描きます。

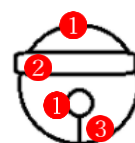
- ・首輪は図形「曲線」2本と「直線」2本を組み合わせ描きます①。
- ・首輪を選択して、「塗りつぶし」ツールを使って「赤色」で塗りつぶします②。

これは、「曲線」と「直線」のままでは背景が透明になってしまい、図形を移動したときに線の上に上書きできないからです。

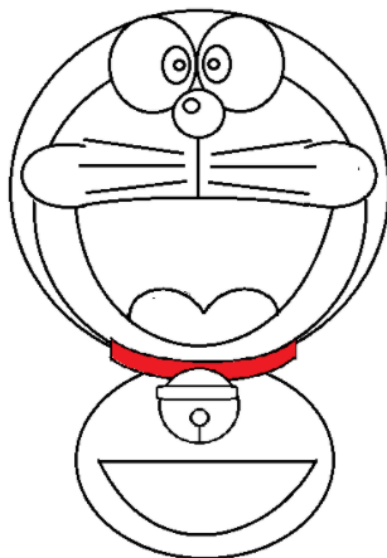


⑨ 鈴を描きます。

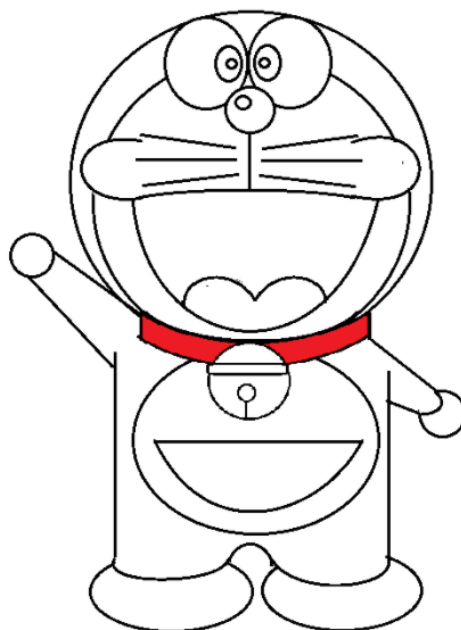
- ・鈴は図形「楕円」①、「角丸四角形」②、「直線」③を使って描きます。
- この時、「図形の塗りつぶし」は「単色塗りつぶし」、「色 2」に「白」を設定しておきます。



- ⑩ 頭の部分の所定の位置に首輪と鈴を配置します。



- ⑪ 胴体と手と足を描きます。
・手は「楕円」で、足は「曲線」で、
胴体と腕は「直線」と「曲線」で
描きます。



- ☆ 図形ツールは、編集中は自由に移動ができますが、編集途中で図形以外の部分をクリックすると、その図形は確定状態になり、その後は移動ができなくなります。
しかし、その図形を「選択ツール」でドラッグして選択し直すと、選択した部分だけが移動できるようになるので、上手く使いこなしましょう。
- ※ ただし、この機能は背景が「白」の場合に限ります。なぜなら、実際は「切り取り」と「貼り付け」を同時に行っていて、たまたま背景が白いと切り取った痕跡が見えないだけだからです。
- ☆ 編集中は、「元に戻る」ボタンも一緒に有効活用しましょう。

(3) 塗りつぶしをする

塗りつぶしは、輪郭をすべて作成し
終えてから行います。

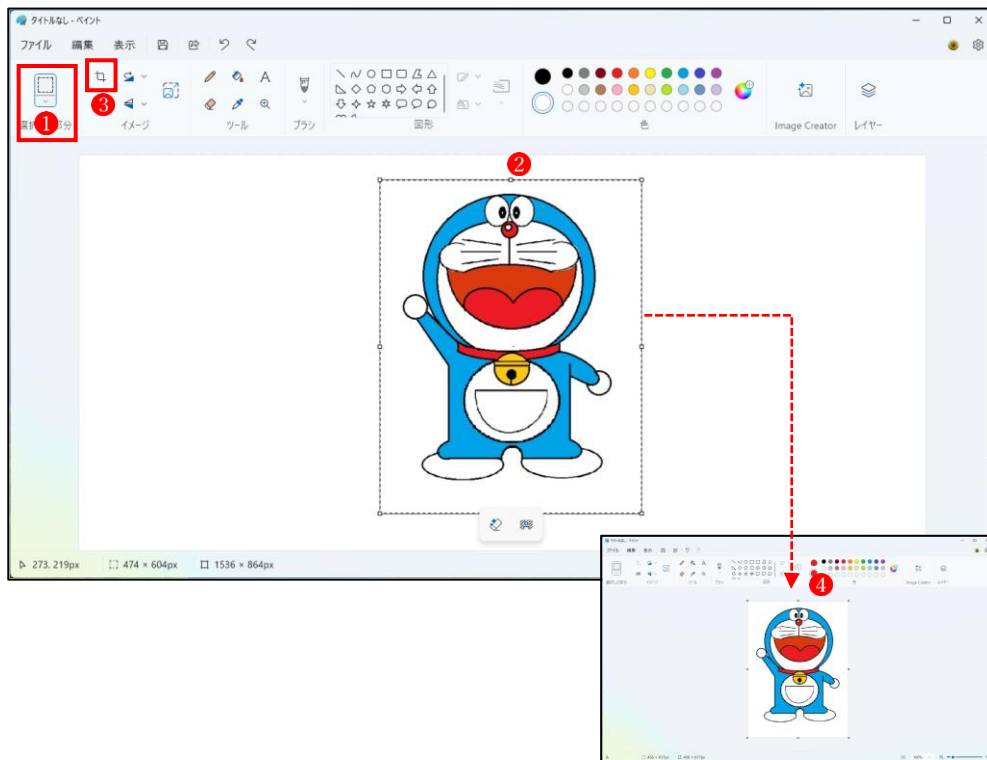
- ① 目の部分の2つ目の楕円を「黒」
で塗りつぶします。
- ② 鼻の部分を「赤」で塗りつぶしま
す。
- ③ 口の奥の部分を「暗い赤」で塗り
つぶします。
- ④ 舌の部分を「赤」で塗りつぶしま
す。
- ⑤ 鈴の部分を「金色」で塗りつぶします。
- ⑥ 着ている服の色を「青」で塗りつぶします。



(4) 画像として保存する

イラストができあがったら、「トリミングツール」を使って適当なサイズに切り抜き、画像と
して保存しましょう。

- ① 「トリミングツール」を使って適当なサイズに切り抜きます。
 - ・「選択ツール」の「四角形」モード①でドラッグして、切り抜きたいサイズに設定します②。
 - ・「トリミングする」③をクリックします。→トリミングが実行されます④。

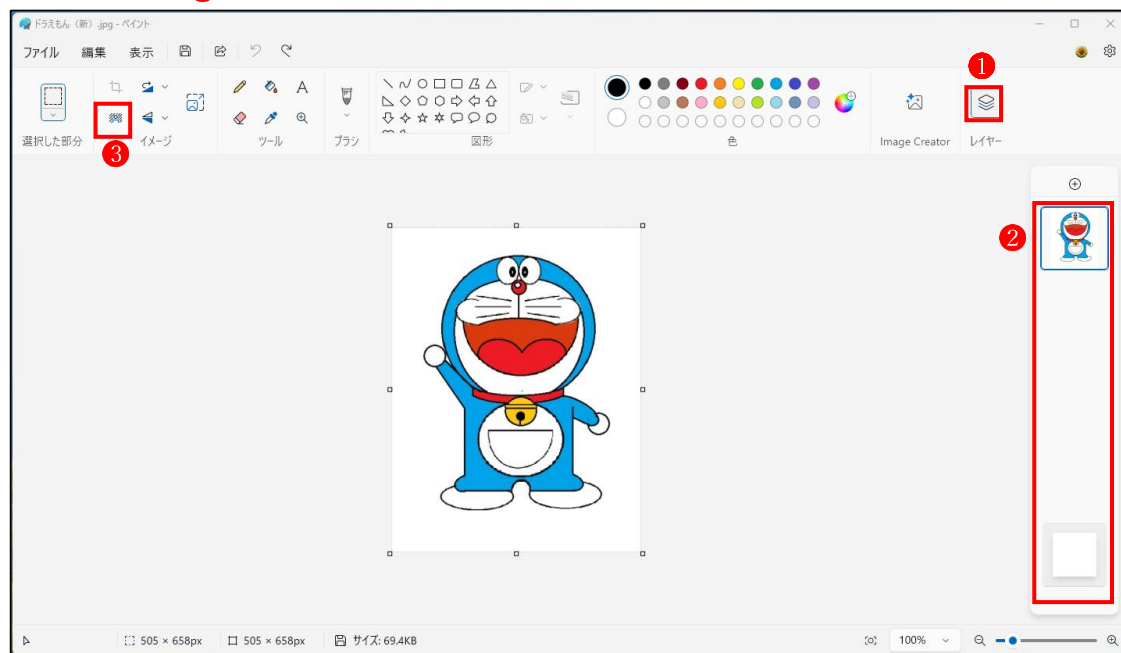


- ② 「ファイル」→「名前を付けて保存」から「JPEG 画像」を選択して保存します。

③ 「背景の削除」を使って背景を透明にします。

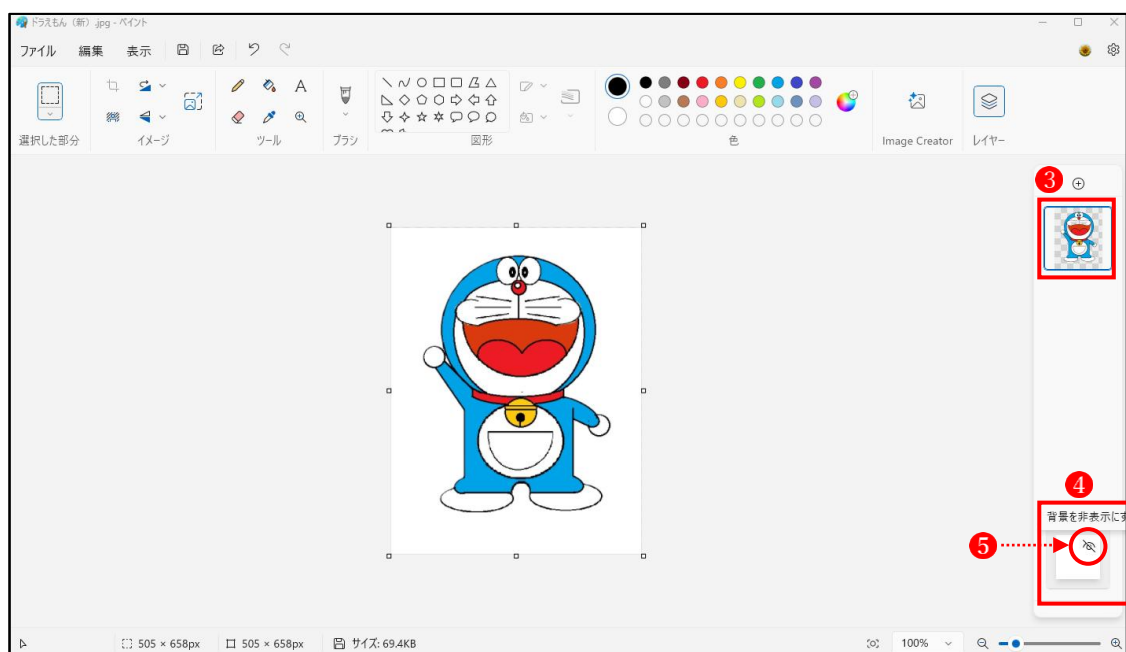
・「レイヤー」①をクリックします。→「レイヤー1」②が表示されます。

・「背景の削除」③をクリックします。

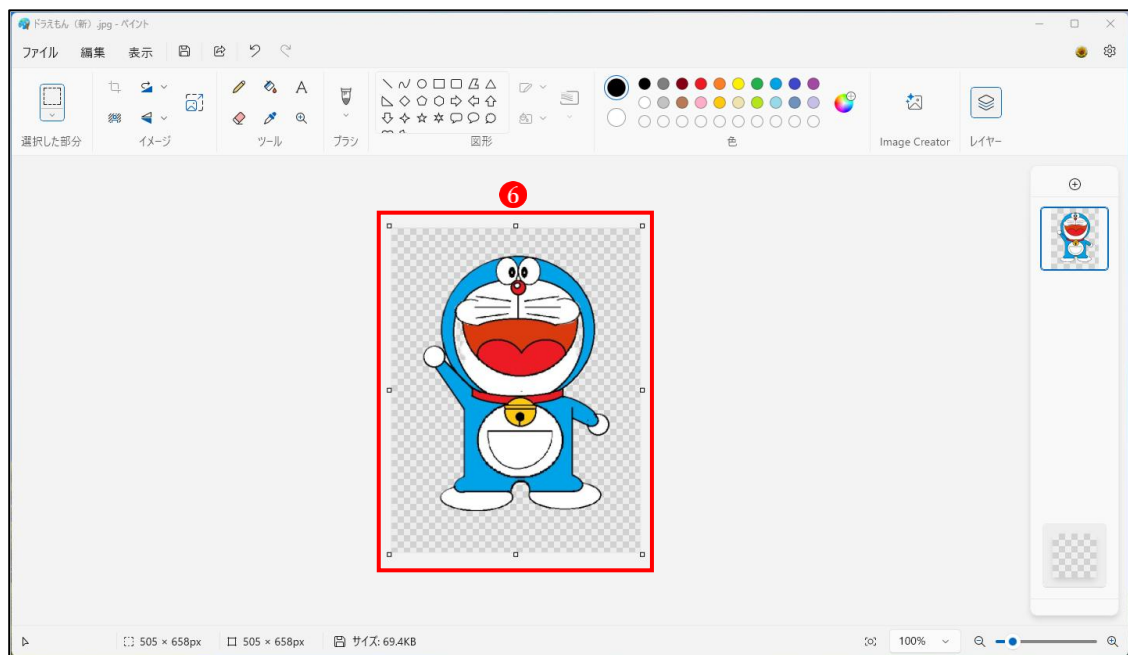


・「レイヤー1」のサムネイル③が透明になります。

・下方のサムネイルにマウスポインターを合わせると「背景を非表示にする」という文字とマークが表示される④ので、「非表示のマーク」⑤をクリックします。



- ・ 画像の背景が透明化されます⑥。



- ④ 「ファイル」→「名前を付けて保存」から「PNG 画像」を選択して保存します。

- ☆ ペイントアプリには、「画像の編集状態を保存する機能がない」ので、制作した作品は必ず画像ファイルとして保存します。
- ☆ Windows10 のペイントアプリには「背景の削除」機能がありませんので、その場合は、新しい「**フォトアプリ**」を使って背景を削除しましょう。